

平成 2 8 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 2 8 年 4 月 1 日
至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

(平成 2 9 年 5 月)

目次

| | |
|--|---|
| 第1章 平成28年ねじの生産・輸出入状況 | 1 |
| 第2章 事業活動 | 2 |
| I 委員会事業 | 2 |
| 1. 政策委員会事業 | |
| (1) 委員会・部会活動強化への諮問 | 2 |
| (2) 協会活性化のための会員増強の推進 | 2 |
| (3) 決算・予算報告への諮問 | 2 |
| (4) 政策委員会開催 | 2 |
| (5) その他 | 2 |
| 2. 未来開発・パブリシティ委員会事業 | |
| (1) 人材育成事業 | 2 |
| (2) 会員の手による広報活動の推進強化 | 2 |
| (3) ITの有効活用の推進強化 | 2 |
| (4) ねじ業界振興発展のための事業 | 2 |
| ○ 「この世はねじでできている」(ロゴ) 関係事業 | |
| ○ 五地域ねじ協会交流大会のシンボルマークの提案 | |
| ○ ねじミニ展示(於:県立川崎図書館)への対応 | |
| (5) 未来開発・パブリシティ委員会活動 | 2 |
| (6) MF-Tokyo2017 出展 準備 | 3 |
| (7) 協会内のEメール情報網構築推進活動 | 3 |
| (8) 調査・広報関係事業 | 3 |
| (9) 平成29年度 本委員会の事業計画案の策定協力 | 3 |
| 3. 資格委員会 | |
| (1) 事業内容(計画)の具体化の審議、決定、同事業推進 | 4 |
| (2) 検定委員会開催 | 4 |
| (3) ねじ製造技能検定ハンドブックの拡充・改訂作業 | 4 |
| (4) 国家検定化に向けた検討 | 4 |
| (5) 講習会及び技能検定(協会認定)の実施 | 4 |
| (6) 職業能力評価基準の活用促進事業推進 | 6 |
| (7) 平成29年度 本委員会の事業計画案の策定 | 6 |
| (8) その他、資格制度に関する事業 | 6 |
| 4. 技術委員会事業 | |
| (1) 技術講習会(研修会)及び技術関係視察/工場見学会等の開催 | 7 |
| (2) ねじに関する安全啓発事業 | 7 |
| (3) 圧造技術スクール(FTS)の開催(旭サナック株と共催) | 7 |
| (4) JIS規格/ISO規格に関する事業 | 7 |
| (5) 被締結材の締付けに関する締付け係数及び座面限界面圧の測定実験 (日本ねじ研究協会委託事業) | 8 |
| (6) サポートインダストリー振興事業 | 8 |
| (7) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業 | 8 |
| (8) ねじ入門書(CD版)の頒布、ねじ読本(CD版)の頒布 | 8 |
| (9) 平成29年度 本委員会の事業計画案の策定 | 8 |
| (10) その他、技術振興事業 | 8 |

| | |
|------------------------------------|----|
| 5. 国際委員会事業 | |
| (1) 2016年五地域ねじ協会交流大会（於：韓国 濟州島）への参加 | 9 |
| (2) 2016 五地域ねじ協会交流大会（代表者会議）について | 9 |
| (3) 海外ねじ業界（産業）との交流 | 9 |
| (4) 国際委員会開催 | 10 |
| (5) 2017年 五地域ねじ協会交流大会（於：日本）の開催準備 | 10 |
| (6) 海外ねじ関連企業工場見学 | 10 |
| (7) 原産地規則、自由貿易協定、TPPに関する情報収集 | 10 |
| (8) 国際関連情報の収集提供 | 10 |
| (9) 平成29年度 本委員会の事業計画案の策定 | 10 |
| (10) その他、国際協調・競争力強化関係事業 | 10 |
| 6. 取引委員会事業 | |
| (1) 経済産業省（自動車取引適正化研究会）への協力／対応 | 11 |
| (2) 取引関係セミナー開催 | 11 |
| (3) 消費税増税に伴う対応 | 11 |
| (4) 政府の下請取引適正化対策の周知・対応 | 11 |
| (5) 全国中小企業団体中央会取引関係委員会への協力／対応 | 11 |
| (6) 行政省庁との対応 | 11 |
| (7) 諸会合における取引に関する情報交換 | 11 |
| (8) その他 適正取引に関する事業 | 11 |
| II 部会事業 | 12 |
| III 組織強化事業 | |
| (1) 魅力ある協会運営のための事業推進 | 13 |
| (2) 海外情勢等に関する講演会開催 | 13 |
| (3) ねじのモニュメント建立事業提案への対応 | 13 |
| (4) 政府経済対策等への対応 | 13 |
| (5) ねじ関係団体との連携強化 | 14 |
| (6) 中学生職場訪問への対応 | 14 |
| (7) 会員企業の労務関係調査 | 14 |
| (8) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供 | 14 |
| (9) 団体保険制度対応 | 14 |
| (10) その他 | 14 |
| 第3章 社員総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等 | 15 |
| 1. 社員総会、理事会、執行役員会 | 15 |
| (1) 社員総会 | 15 |
| (2) 理事会、執行役員会 | 15 |
| 2. 懇談会・工場見学会・懇親会 他 | 16 |
| 3. ねじ商工連盟総会 | 17 |
| 【平成28年度会員数推移】 | 18 |
| 【参考1】 第4回社員総会議事録 | 19 |
| 【参考2】 ニュースリリース | 21 |
| 【参考3】 五地域交流大会公式ロゴマーク | 27 |

第1章 平成28年ねじの生産・輸出入状況

(1) 生産（速報） （出所：当協会推計）

数量：301万トン （対前年比 4.1%増）

金額：8,504億円 （対前年比 2.6%増）

数量・金額とも増加。

（過去最高－H19：数量334万トン・H19：金額9,005億円）

（参考－H21（リーマンショック）：数量222万トン、金額6,274億円）

(2) 輸入 （出所：財務省貿易統計）

数量：22.9万トン （対前年比 2.0%減）

金額：803億円 （対前年比 12.8%減）

数量減少、金額大幅減少。

（過去最高－H25：数量25.4万トン・H27：金額921億円）

（主要輸入先国：中国、台湾、米国（数量3位：韓国））

(3) 輸出 （出所：財務省貿易統計）

数量：32.8万トン （対前年比 4.2%増）

金額：2,685億円 （対前年比 2.9%減）

数量増加、金額減少。

（過去最高－S52：数量38.1万トン・H26：金額2,772億円）

（主要仕向地：米国、中国、タイ）

（参考）需要業界生産動向（速報）

（出所：生産動態統計（輸送機械、電気・電子デバイス・情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械））

| (暦年) | 四輪自動車 | | 民生用電気 機械器具 | 民生用電子 機械器具 | 金属工作機械 | |
|------|-------|---------|---------------|---------------|--------|--------|
| | 万台 | 億円 | 億円 | 億円 | 万トン | 億円 |
| 27年 | 928 | 196,435 | 8,464 | 6,687 | 49 | 12,581 |
| 28年 | 920 | 193,873 | 8,776 | 6,530 | 37 | 10,152 |
| 前年比 | 99.1% | 98.7% | 103.7% | 97.7% | 75.5% | 80.7% |

※ 生産及び需要業界生産動向は速報値のため変更される可能性有り

第2章 事業活動

I 委員会事業

1. 政策委員会事業（相澤正己会長）

- (1) 以下の委員会・部会への活動強化のための諮問を実施して、協会事業の全体を統括
 - 事業推進5委員会 未来開発・パブリシティ委員会、資格委員会、技術委員会、国際委員会、取引委員会
 - 2部会 ソケットスクリー部会、ステンレスねじ部会
- (2) 協会活性化のための会員増強の推進
- (3) 決算・予算報告への諮問
- (4) 政策委員会(懇親会)開催
- (5) その他

2. 未来開発・パブリシティ委員会事業（藤田守彦委員長、勝亦良彰副委員長、高須俊行副委員長）

- (1) 人材育成事業
委員会委員企業の中堅社員を育成する「パブリシティリーダー養成講座」の開催
目的：未来開発・パブリシティ委員会の活動の拡大発展に貢献する人材を育成する。
未来開発・パブリシティ委員会のプロジェクトに参加し、推進者として貢献できるリーダーを育成する。
各企業においても自社の広報活動・パブリシティ活動やプロジェクトの推進に貢献できる人になることを目指す。
 - スクーリング開催日：H28. 10. 21、11. 18、12. 16(懇親会)、H29. 1. 20、2. 17、3. 17 (全て(金))
(於：機械振興会館、参加者：8名)
 - 欠席者に対する補講／メールを活用したフィードバック講座 他
- (2) 会員の手による広報活動の推進強化
「会報ねじ」の掲載記事の取材及び内容充実（入会会員企業の紹介、会員からの投稿、トップに聞く、県立川崎図書館でのねじミニ展示 他）が一層図られた。
 - ・「会報ねじ」の記事のアップ状況（H28. 4月～H29年3月末）：31件
- (3) ITの有効活用の推進強化
 - ・メルマガ配信状況（同期間）内部向け11件、外部向け6件
- (4) その他 ねじ業界振興発展のための事業
 - ロゴ「この世はねじでできている」の商標登録の完了、利用基準・取り扱い説明書の作成。
ロゴを使用したクリアファイルを製作し、ねじの日の記念品として採用された。
 - 五地域ねじ協会交流大会のシンボルマークのデザイン案を本委員会で検討／決定した上で、同交流大会への提案を行ったが、採用に至らなかった。
 - 県立川崎図書館でのねじミニ展示への対応（出展協力依頼、図書館との渉外 他）。
 - ・ミニ展示「産業の塩 - 生活を支える“ねじ” -」
開催期間：平成28年9月9日(金)～平成29年1月11日(水)
場 所：神奈川県立川崎図書館2階展示スペース（出展協力会員企業6社）
- (5) 未来開発・パブリシティ委員会活動
 - 正副委員長会(委員長、副委員長、事務局)を開催して基本方針や活動の具体化、今後の方向性等を検討（H28. 7. 22 他8回）
 - 未来開発・パブリシティ委員会(懇親会)の開催
(H28. 4. 6(水)13:30～/5. 23(月)15:00～(懇親会)、8. 31(水)13:30～、H29. 3. 21(火)15:30～
於：機械振興会館)
 - ・パブリシティリーダー養成講座について
 - ・五地域ねじ協会交流大会のシンボルマーク
 - ・ねじロゴマークの取り扱いについて
 - ・6月1日「ねじの日」記念グッズ(ねじロゴマーク入りクリアファイル)について（H29年度）
 - ・神奈川県立川崎図書館のミニ展示への協力について
 - ・MF-Tokyo2017への出展について
 - ・その他 協会会員へのサービス向上並びに業界活性化のための活動に関する検討
 - これまで同様 Facebook グループ機能による同委員会の迅速な情報共有のさらなる推進

(6) MF-Tokyo2017 出展 準備

一昨年に引続き(一社)日本鍛圧機械工業会から特別協賛依頼及び展示小間の無償貸与の提案を受け、当委員会で企画具体化及び出展準備を検討。

(MF-Tokyo2017 開催時期:H29. 7. 12~7. 15 の 4 日間 於:東京ビッグサイト)

- ・出展準備委員会の立ち上げ(高須俊行委員長選任)
- ・スローガン決定「この世は‘ねじ’できている」
- ・会員に向けた出展要望アンケートの実施及びその他出展内容の具体化に向けた作業
- ・展示会主催者による出展説明会(H29. 3. 14 於:東京ビッグサイト)出席等、
その他、出展準備に関する事業

(7) 協会内の E メール情報網構築推進活動

- 積極的な登録推進活動の推進
 - ・窓口責任者登録率:99.0% (企業数 197 社) (H29. 3 月末日現在)
- メルマガ読者登録推進活動の推進
 - ・内部メルマガ読者登録数:727 名(正副窓口責任者含む)、外部登録数:1,004 名、
合計:1,731 名(同期間)

(8) 上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業

- 年頭所感・ねじの日挨拶等の会報「ねじ」発表(協会ホームページ)対応
- その他 協会ホームページの更新
- 生産統計の作成(メールを活用した収集) / 発表
- 輸出入統計、主要国のねじ貿易統計の作成 / 発表
- 「ねじの日」記念事業
 - ・ねじ関係報道各社(2 紙)へのねじの日及び当協会 P R 広告掲載
 - ・ねじの日記念「ねじロゴマーク入りクリアファイル」(企画・販売)の頒布
(H29. 6. 1 ねじの日記念事業)
(日本ねじ商業協同組合連合会への斡旋販売)
- 官公庁、その他関連団体などからの業界関連情報の収集・提供
- 官公庁、その他関連団体などからの調査(情報収集)依頼及び情報提供依頼への協力
- メール及びホームページ等のツールを活用した会員との双方向の情報収集 / 提供の実現検討
- TV 局等、報道各紙・誌、他業界などからのねじ・業界・当協会に関する取材 / 問合せへの対応
 - ・大磯義和専務理事の TV / ラジオ出演依頼対応
 - ・会員企業 / ねじ関係報道等の TV 出演(紹介)の紹介・P R
 - ・ねじ関係(関連)書籍のホームページ等での紹介・P R
- その他
 - ・その他 会員並びに業界(関連)情報の収集・提供
 - ・その他 当協会・会員・業界(関連)情報の広報 / 周知(P R)活動

(9) 平成 29 年度 本委員会の事業計画案の策定協力

3. 資格委員会（椿省一郎委員長、佐藤義則副委員長）

- (1) 資格委員会事業に係わる事業内容(計画)の具体化の審議、決定、同事業推進
- (2) 正・副・主席検定員会議 (H29. 1. 19(木)11:00～於:機械振興会館)
検定委員会開催 (H28. 4. 7(木)、6. 21(火)、7. 6(水)(懇親会)、7. 12(火)、8. 25(木)、9. 29(木)、
11. 1(火)、12. 6(火)、12. 20(火)、H29. 2. 2(木)、3. 2(木)於:AP名古屋、
機械振興会館、(株)中島田鉄工所 名古屋営業所)
- (3) ねじ製造技能検定講習会及び協会認定で使用するねじ製造技能検定ハンドブック
の拡充・改訂作業
 - 改訂版「ねじ製造技能検定ハンドブック」をねじ製造技能検定講習会受講者へ頒布
 - ・ 製造編の最終テキスト改訂会議開催 (H27. 4. 16(木)11:00～於:関西支部会議室)
 - ・ 改訂最終版 PDF データ作成及び最終確認のため講師への配布・取り纏め
／最終版ゲラ刷りのチェック・校正・訂正
 - ・ 改訂版「ねじ製造技能検定ハンドブック」印刷／発行(200冊)／受講者への受け渡し
- (4) ねじ製造技能検定(協会認定)を国家検定化するための検討
 - 国家検定化に向けた1級試験及び3級試験の検討並びに作業試験の拡充検討
 - ・ 1級試験(実機作業試験)の検討／評価基準検討
 - ・ 3級試験の試験内容検討／評価基準検討・作成／試験問題(学科試験)作成／
トライアル試験実施
 - ・ 1～3級学科試験問題及び今後の技能検定について個別検討(H27. 3. 17(木) 於:旭サナック)
 - 作業(地域)別 実機実技(作業)試験検討会開催
 - ・ ボルトフォーマー工(ボルトフォーマー)／ローリング工(プラネタリ式)(関東)
(H28. 4. 19(火)於:機械振興会館、6. 10(金)於:(株)互省製作所 さくら工場、
6. 30(木)於:機械振興会館、7. 6(水)於:AP名古屋)
 - ・ ナットフォーマー工／タッパー工(中部)(H27. 3. 15(火)、5. 31(火) 於:(株)杉浦製作所)
 - ・ ボルトフォーマー工(1ダイ2ブローヘッダー)／ローリング工(平ダイス式)(関西)
(H28. 9. 21(水)於:(株)丸エム製作所)
 - 実機実技(作業)試験トライアルの実施
 - H28. 7. 26(火)於:(株)互省製作所 さくら工場 実機実技(作業)試験模擬演習
(ローリング工:プラネタリ式転造機 1級)(関東)
 - H28. 12. 6(火)於:(株)中島田鉄工所 名古屋営業所 実機実技(作業)試験模擬演習
(ボルトフォーマー工:2ダイ3ブローヘッダー 1級)
 - 厚生労働省との対応(ヒアリング) H29. 3. 30(木)於:厚生労働省会議室
 - 検定化に向けた諸手続き・具体的取組等の検討、
検定関係諸規定の整備(見直し)、その他 国家検定化に向けた作業
- (5) ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の実施
 - ねじ製造技能検定講習会の実施に向けた取組み
 - ・ 講習会で実施する模擬試験の検討・決定
 - ・ 講師との講習内容の調整(拡充)及び講習会で使用するパワーポイントの見直し依頼
講習会講師(基礎編及び製造編)との会議
(講師へのパワーポイント見直し依頼／講習内容の調整)
(H28. 7. 6(水)13:00～於:AP名古屋)
 - 講習会講師(作図講習)との会議(作図方法の講習追加／各地域単位のレベル合わせ)
(H28. 7. 6(水)15:00～於:AP名古屋)
 - ・ ねじ製造技能検定講習会反省会(慰労会)の開催
開催日:H28. 11. 1(火)15:00～(慰労会 16:00～)
場 所:機械振興会館
 - ねじ製造技能検定講習会の実施
 - ・ 関東・中部・関西で、地域毎3回の講習会(全カリキュラム3日間)を開催
(地域毎に同一日に開催)
開催日:① H28. 8. 25(木)、② 9. 29(火)、③ 10. 27(木)
場 所:関東(東京):機械振興会館 受講者 43名
中部(名古屋):愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 受講者 33名
関西(大阪):天満研修センター 受講者 50名
カリキュラム 次頁カリキュラム1～3(計3日)で1セット(地域毎1～3を交替で実施)
(ねじ製造技能検定講習会カリキュラム 次頁参照)

受講料 30,000円(3日間)-基礎編 10,000円/製造編 10,000円、テキスト代 10,000円)
 但し 当協会会員 15,000円(3日間)-基礎編 5,000円/製造編 5,000円、テキスト代 5,000円)
 // 協会所属組合員 22,500円(3日間)-基礎編 7,500円/製造編 7,500円、テキスト代 7,500円)

《ねじ製造技能検定講習会カリキュラム》

| | 時間 | テーマ | 講師 |
|---|-------------|---|---|
| カリキュラム1 8.25 関東 9.29 中部 10.27 関西 | 9:20～10:10 | ねじの基礎知識について (50分) | (一社)日本ねじ工業協会 大磯義和氏 |
| | 10:20～11:30 | ねじ用材料とその熱処理 (70分) | 大阪精工(株) 古賀浩介氏 |
| | 11:40～12:40 | 品質管理と検査 (60分) | (株)フセラン 関東・中部:吉岡正澄氏 関西:高河原直樹氏 |
| | 13:40～14:30 | 表面処理について (50分) | 日本表面化学(株) 山室正明氏 |
| | 14:40～15:10 | 安全衛生について (30分) | 日産ネジ(株) 土居貴志氏 |
| | 15:20～16:20 | 模擬試験 (60分) | |
| カリキュラム2 8.25 関西 9.29 関東 10.27 中部 | 9:20～11:40 | 冷間工程設計、ボルト生産設備及びボルト冷間圧造加工機の取り扱い方について (140分) (演習問題及び問題の解説を含む) | (株)エーオー 松浦富康氏 |
| | 12:40～14:40 | ナット生産設備及びナット冷間圧造加工機の取り扱い方について (120分) (演習問題及び問題の解説を含む) | (株)阪村機械製作所 関西:遠藤信幸氏 関東・中部:岡田 泰雄氏 |
| | 14:50～16:45 | ねじ転造、ねじ転造設備及びねじ転造生産設備の取り扱い方について (115分) (演習問題及び問題の解説を含む) | (株)三明製作所 谷口正樹氏 |
| カリキュラム3 8.25 中部 9.29 関西 10.27 関東 | 9:20～11:10 | ナットタッピング生産設備及びナットタッピング機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む) (110分) | 東京タッピングマシン(株) 太田譲氏 (株)野村工具製作所 林達志氏 |
| | 11:20～11:50 | 圧造油について (30分) | スギムラ化学(株) 山口直樹氏 |
| | 12:50～14:45 | ねじの製図講習 (115分) (JISに準じたボルトの製図方法及びボルト製品の作図実習) | 関東:(株)互省製作所 木田秀樹氏 中部:(株)メイドー 松島敏之氏 関西:(株)丸エム製作所 出羽弘氏 |
| | 14:55～16:50 | ボルトの検査測定 (115分) (JISに準じたボルトの測定方法及びボルト製品の測定実習) | (株)ミツトヨ 関東:関根大介氏、澤根伽耶子氏 中部:西山剛史氏 関西:石塚夏希氏 (株)メイドー 藤本晃生氏 |

○ ねじ製造技能検定(協会認定)の実施に向けた取組み

- ねじ製造技能検定(協会認定)の受検資格等の基本事項について確認
 結果 2級のみ、受検資格:実務経験3年以上、
 受検対象者:上記受検資格を満たす全ての方
- ねじ製造技能検定(協会認定)実施に向けた活動計画の検討・決定
- ねじ製造技能検定(協会認定)を実施運営に携わる検定員増強、委嘱に関する作業
- ねじ製造技能検定(協会認定)1級創設のための検討・準備作業
- 学科試験、実技試験の試験基準・合格基準・作業試験の評価基準等の確認/見直し
- 学科試験の確認・検討・問題内容の見直し・試験問題作成
- 実技試験(要素試験)の確認・内容見直し、試験問題作成
- 実技試験(作業試験)内容・試験問題確認
 (昨年より測定試験についてリングゲージではなく提供測定用ナットを使用するように変更)
- 実技試験の作業試験に対するチェック項目の検討・チェックシートの見直し
- 実技試験の作業試験に対する検定員のレベル合わせ・評価技能向上(確認)
 模擬実技試験の実施(H29.2.9(木)11:00～於:機械振興会館)
 検定員レベル合わせ・評価技能向上(確認)研測定試験修会の開催
 (H29.2.9(木)13:30～於:機械振興会館)
- 検定当日の担当分け等の3地域別検定員会開催
 (H29.2.9(木)15:30～於:機械振興会館)
- 関東・中部・関西同日(同時間)実施体制の確認・検討・見直し
- 作業試験の試験サンプル、測定器等 試験に必要な備品等の準備
- ねじ製造技能検定(協会認定)当日の試験段取り(プログラム)の検討・準備

○ ねじ製造技能検定(協会認定)の実施

- ・ 関東・中部・関西の3地域によるねじ製造技能検定(協会認定)実施(同一日実施)

開催日:H29.2.16(木)

場 所:関東(東京):機械振興会館 受検者 44名

(会場) 中部(名古屋):愛知県産業労働センター(ウイंकあいち) 受検者 28名

関西(大阪):天満研修センター 受検者 48名

受検料: 学科試験:8,000円/実技試験:20,000円

但し 当協会会員 学科試験:5,000円/実技試験:10,000円

但し 協会所属組合員 学科試験:6,500円/実技試験:15,000円

《受検カリキュラム》 9:20 実技試験受付開始 9:45 着席完了

10:00 実技試験開始(途中作業試験と要素試験の入換え時間あり)

・ 作業試験:60分

・ 要素試験:60分

12:30 実技試験終了

(休憩)

13:15 学科試験受付開始 13:35 着席完了

13:45 学科試験開始(学科試験:60分)

14:45 学科試験終了

合格者 50名、一部合格者(学科)44名、一部合格者(実技)2名

- ・ ねじ製造技能検定(協会認定)の採点/合否判定/次年度に向けた改善点確認
(合否判定会議:H29.3.2(木)11:00~於:機械振興会館)

- ・ ねじ製造技能検定(協会認定)の合格者受検番号を協会ホームページで公表
- ・ ねじ製造技能検定(協会認定)合格証、一部合格証送付、その他合格者(一部含む)対応
- ・ ニュースリリースの発表

(6) 職業能力評価基準の活用促進事業推進

- ・ ねじ製造業の職業能力評価基準並びに活用促進ツール類のさらなる活用促進・普及活動推進検討
- ・ 職業能力評価基準の活用事例集作成への協力(取材/校正/JAVADAとの調整/その他対応)

(7) 平成29年度 本委員会の事業計画案の策定

- ねじ製造技能検定講習会(各地域3回)(予定)

H29.8.24(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)

H29.9.28(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)

H29.10.26(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)

- ねじ製造技能検定(協会認定)(予定)

H30.2.22(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)

(8) その他、資格制度に関する事業

- ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の事務処理

(日程調整、広報、案内、会場確保、会場準備、受検(講)受付処理、

受検(講)票送付、データ処理、他)

- 資格委員会事業の体制(整備)拡充及び事務処理体制整備の検討

4. 技術委員会事業（長谷川裕恭委員長）

(1) 技術講習会（研修会）及び技術関係視察／工場見学会等の開催

○ 技術講習会／講演会／プレゼン

- ・ 五地域ねじ協会交流大会本会議における講演（H28. 10. 10(月) 於： ロッテホテル済州）
テーマ：「ロボット新戦略について」
講師：(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯 義和 氏
- ・ ドイツねじ協会(DSV)へのプレゼン（日本ねじ研究協会との共催）(国際委員会事業)
(H28. 9. 14(木) 於： FUCHS 社 (Siegen) 参加者 FIJ/JFRI:5名、DSV:8名)
プレゼンテーマ：「日本ねじ産業の概況」
説明者：(一社)日本ねじ工業協会／日本ねじ研究協会 専務理事 大磯 義和 氏
- ・ 幾何公差の講習会開催（日本ねじ研究協会との共催）
(H28. 9. 2(金)13:30～於： 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
参加者 ねじ協:39名、ねじ研:15名、他6名)
テーマ：「ねじ部品の幾何公差とその解釈について」
講師：いすゞ自動車株
CAE デジタル開発推進部デジタル推進グループ 大林 利一 氏
- ・ ねじ製造技能検定講習会開催（資格委員会事業）

○ 工場見学会

- ・ 日東精工株 工場見学会（H28. 6. 14(火) 10:00～）(関西支部事業)
- ・ 日本高周波鋼業株 富山製造所 見学会（H29. 3. 8(木)14:00～）(ステンレスねじ部会事業)
- ・ 富士重工業株 半田工場 見学会（H29. 2. 21(火)13:30～）(中部支部事業)

○ その他視察

- ・ 株島津製作所 創業記念資料館 見学会（H28. 6. 14(火)13:30～）(関西支部事業)
- ・ CYBERDYNE STUDIO (サイバーダイナスタジオ) 見学会（H28. 12. 12(月)15:00～）(関東支部事業)

(2) ねじに関する安全啓発事業

○ 広く一般向けのねじの安全啓発事業実施に関する検討

(3) 圧造技術スクール関係事業（旭サナック株と共催）

平成 28 年度は、下記のとおり工程設計コース 4 回、金型設計コース 2 回の計 6 回開催し、計 122 名が参加した。

| 開催日 | 内容 | 開催場所 参加者数 |
|------------------------|---------|----------------------------|
| 第 145 回 28.6.15～17 | 工程設計コース | 旭サナック株圧造技術センター 参加者 24 名 |
| 第 146 回 28.9.14～16 | 金型設計コース | 〃 参加者 17 名 |
| 第 147 回 28.10.12～14 | 工程設計コース | 〃 参加者 24 名 |
| 第 148 回 28.12.14～16 | 工程設計コース | 〃 参加者 20 名 |
| 第 149 回 29.2.7～9 | 工程設計コース | 〃 参加者 21 名 |
| 第 150 回 29.3.15～17 | 金型設計コース | 〃 参加者 16 名 |

(4) JIS 規格/ISO 規格に関する事業

○ 周知用リーフレット並びに六角ボルト(JIS B 1180)・六角ナット(JIS B 1181)の

本体規格製品の普及・PR・啓発活動

- ・ 同リーフレット(昨年度作成の「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」)の配布
(継続事業)
- ・ 関係業界（企業）他 への切り替えに関する解説・普及・PR・切り替え要望説明等の実施
(継続事業)
- ・ ねじ商工連盟総会並びに当協会理事会／執行役員会／その他会合での
普及啓発の取組み説明
- ・ 政府・行政省庁への報告／協力依頼／対応 等（継続事業）
- ・ 本体規格／製品に関する業界内外からの問合せ(供給体制及び時期等含む)対応
- ・ 昨年度公表した「六角ボルト・六角ナット(JIS B 1180/JIS B 1181)
本体規格品の供給先企業一覧について」を問合せ先(需要業界など)に配布／PR／普及説明
(継続事業)

- JIS 普及委員会開催（平戸眞澄委員長）
 - （H28. 7. 26(火)14:00～、11. 8(火)14:00～、H29. 2. 1(火)（懇親会）14:00～ 於：関西支部会議室）
 - ・ 同委員会によるさらなる切り替え普及・P R及び
それに伴う課題の解決(対応)策を検討・取り纏め
 - ・ 商業者向けの本体規格品の普及促進対応（普及に関する現状説明／依頼事項検討 他）
 - ・ 建築委員会への対応
（設置準備に関する課題検討・対応／委員選任意見交換／
建築関係者向け切り替え説明資料の検討（意見交換）・作成 他）
 - ・ 次回公共建築工事標準仕様書 改正に向けた準備
- 建築委員会設置・開催
 - ・ 同委員会設置準備
（委員長・副委員長・幹事の選任（依頼・対応 他）（委員長：田中 淳夫 先生(宇都宮大学)、
副委員長：増田 浩志 先生(宇都宮大学大学院)、幹事：岡部 純 氏(株東京ネジ製作所)）／
正・副委員長・幹事会議開催／
委員選任作業（特に建築業界関係者対応）
（建築業界関係者：5名、ねじ業界4名(正副委員長・幹事除く)）／
委員会開催対応（スケジュール調整 他）／その他 同委員会設置に関する対応）
 - ・ 同委員会(懇親会)開催
（H28. 9. 28(水)9:30～、12. 8(木)（懇親会）14:00～、H29. 3. 6(月)14:00～ 於：機械振興会館）
（建築資材（ねじ含む）使用（調達）実態等現状意見交換／
建築業界への本体規格(品)の普及説明資料の検討（意見交換）／作成）
- 公共建築関係作業（対応）
 - ・ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成 28 年版 発行対応
（前年度改正要望結果等 委員会への報告）
 - ・ 建築工事監理指針(平成 28 年版) 発行対応（前年度改正要望結果等 委員会への報告）
 - ・ 建築基準法に基づく大臣認定の見直し対応
（国土交通省とのヒアリング／パブリックコメント対応／周知 他）
- その他 JIS 規格に関する情報提供／P R・周知（日本ねじ研究協会との連携）
JIS の制定・改正に関する情報提供、JIS 規格に関する問合せ等への対応並びに周知・P R
- (5) 被締結材の締付けに関する締付け係数及び座面限界面圧の測定実験
（日本ねじ研究協会委託事業）
薄板、高分子材料、異種材料その他新材料の被締結材とボルト（鋼及びステンレス）を組み合わせた場合の摩擦係数及び座面の限界面圧の基礎データの実験・収集について、日本ねじ研究協会(同研究会が「ねじ締結体の設計法」の研究に取り組んでいるため)へ研究委託した。
 - ・ 委託の承認及び研究結果報告を理事会に報告
 - ・ 平成 29 年度事業として同研究に関する報告会の実施及び継続研究を決定
- (6) サポートインダストリー振興事業
 - 会員啓発のための作業
 - 公募関係案内等の会員への情報提供等の活用促進対応
 - 申請作業に関する会員へのサポート対応
- (7) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業
化学物質管理規制(海外含む)、省エネ・温暖化対策等に関する情報収集、その他環境対策対応
- (8) ねじ入門書(CD版)の頒布、ねじ読本(CD版)の頒布
- (9) 平成 29 年度 本委員会の事業計画案の策定
 - 幾何公差の講習会（日本ねじ研究協会との共催）の関西における開催検討／決定／調整
平成 29 年度 幾何公差の講習会開催（関西）（H29. 4. 21(金)13:30～於：大阪 鐵鋼會館）
- (10) その他、技術振興事業

5. 国際委員会事業（大川克良委員長）

(1) 2016年五地域ねじ協会交流大会（於：韓国 済州島）への参加

<大会概要>

日 程：10月9日(日)～10日(月)

場 所：韓国 済州島

代表者会議会場： ロッテホテル済州

交流大会会議会場： 同上

歓迎晩餐会会場： 同上

参加者：一般社団法人日本ねじ工業協会 25名

香港螺絲業協会 16名

韓国 Fastener 工業協同組合 52名

中国機械通用零部件工業協会緊固件分会 45名

台灣區螺絲工業同業公會 41名

合計 179名(報道2名/事務局含む)

大会構成： 10/9(日)：代表者会議

10(月)：交流大会本会議（大磯義和専務理事の講演(技術委員会事業)含む）
懇親晩餐会

11(火)：帰国（関東）/自由行動

12(水)：帰国（中部・関西）

※ 来年の開催地は日本に決定した

(2) 2016 五地域ねじ協会交流大会（代表者会議）について

○ 同交流大会シンボルマークについて

各地域（中国機械通用零部件工業協会緊固件分会除く）よりシンボルマークデザイン案を提出して代表者会議でプレゼンの上、無記名投票。その結果、台灣區螺絲工業同業公會のシンボルマークに決定。

（当協会からの提案デザイン案は未来開発・パブリシティ委員会で検討/決定）

同シンボルマークを台灣區螺絲工業同業公會が商標登録して交流大会旗を作成の上、次回以降の交流大会で使用する。

○ 同交流大会開催形式

代表者会議において、当協会から発議した同交流大会の開催形式の見直しを審議。

開催形式の見直しについては各地域概ね賛成ではあるが、時間の都合もあり見直し合意に至らなかった。次回、交流大会（2017年日本開催）での継続審議となった。

また、各地域より次回主催協会（当協会）宛てに書面で意見を提出することとなった。

（提出期限：次回開催の3ヶ月前迄）

○ 同交流大会における地域毎で行う記念品交換は次回以降取り止めとなった。

○ これまで各地域で最終合意を取る代表者会議の議事録作成が無かったため、今回主催協会の韓国 Fastener 工業協同組合が議事録を作成し各地域に配布。

(3) 海外ねじ業界（産業）との交流

○ ドイツのねじ業界との交流（日本ねじ研究協会との連携事業）

昨年度のドイツねじ協会（以降、DSV）ゼネラルマネージャーとの交流で確認された、DSVと当協会（以降、FIJ）及び日本ねじ研究協会（以降、JFRI）との交流について、今後実現可能な交流活動を検討するために代表団が訪独し DSV と交流を行った。

日 程：9月13日(火)～16日(金)

場 所：ドイツ Bad Berleburg/Siegen/Darmstadt/Sindelfingen/Dusseldorf

代表団：FIJ 及び JFRI から代表5名

概 要：9/13(火) DSV 役員との交流

9/14(水) EJOT 社訪問 (Bad Berleburg) (タッピンねじ製造)

FUCHS 社訪問 (Siegen) (ねじ部品製造)

DSV 役員との公式会議（大磯義和専務理事のプレゼン含む）

9/15(木) TU Darmstadt 大学訪問 (Darmstadt)

Daimler AG 社訪問 (Sindelfingen) (自動車製造)

9/16(金) ドイツ技術者協会 (VDI) 訪問 (Dusseldorf 市)

帰国

- ・公式会議の中では、日独交流について話し合い、FIJ 及び JFRI と DSV 間の交流関係の確立を合意。そして、平成 29 年度は DSV 訪問団が来日することを確認。
- 海外ねじ関係情報誌を通じた情報収集／提供（交流）(台湾並びにイタリア)
 - 台湾（雑誌名）：Fastener World 投稿 1 回
 - イタリア（雑誌名）：Italian Fasteners 投稿計 3 回
- (4) 国際委員会開催 (H28. 11. 15(火)14:00～於：機械振興会館)
 - 2017 年 五地域ねじ協会交流大会（於：日本）の開催地（北海道 札幌）検討／決定
 - ドイツのねじ業界との交流 報告／来年度の DSV 代表団の訪日に関する意見交換
- (5) 2017 年 五地域ねじ協会交流大会（於：日本）の開催準備
 - (会場選定／通訳(同通含む)業者選定／募集案内(第 1 信)送付・取り纏め／公式以外の行事検討／その他 大会関係調整等(翻訳含む)作業)
 - 2017 年 五地域ねじ協会交流大会 開催概要案(予定)
 - ・代表者会議(案)
 - 開催日：2017 年 10 月 19 日(木)
 - ・交流大会(案)
 - 開催日：2017 年 10 月 20 日(金)
 - 場 所：札幌プリンスホテル 国際パミール館
 - 内 容：講演会 13:00～(予定)
 - 懇親パーティー 17:00～(予定)
- (6) 海外ねじ関連企業工場見学
 - ねじメーカー工場見学(ドイツ)(上記、ドイツのねじ業界との交流 参照)
- (7) 原産地規則、自由貿易協定、TPP に関する情報収集
 - 日本及び諸外国間の FTA/EPA 協定締結状況、運用状況、TPP 情報、原産地規則等の情報収集提供
- (8) その他 国際関連情報の情報収集提供
 - 海外情勢等に関する講演会開催 (H28. 12. 1(木)16:00～於：大阪商工会議所)(組織強化事業)
- (9) 平成 29 年度 本委員会の事業計画案の策定
- (10) その他、国際協調・競争力強化関係事業

<参考> 日本における EPA/FTA/TPP の状況について

| | | |
|----------------------|---|--------------|
| シンガポール | 2007 年 9 月 | 発効 (改正議定書) |
| メキシコ | 2012 年 4 月 | 発効 (改正議定書) |
| マレーシア | 2006 年 7 月 | 発効 |
| チリ | 2007 年 9 月 | 発効 |
| タイ | 2007 年 11 月 | 発効 |
| インドネシア | 2008 年 7 月 | 発効 |
| ブルネイ | 2008 年 7 月 | 発効 |
| フィリピン | 2008 年 12 月 | 発効 |
| アセアン全体 (AJCEP) | 2015 年 1 月 | 発効(インドネシア除く) |
| | (サービス貿易・投資について 2013 年 12 月 実質合意) | |
| スイス | 2009 年 9 月 | 発効 |
| ベトナム | 2009 年 10 月 | 発効 |
| インド | 2011 年 8 月 | 発効 |
| ペルー | 2012 年 3 月 | 発効 |
| オーストラリア | 2015 年 1 月 | 発効 |
| モンゴル | 2016 年 6 月 | 発効 |
| カナダ | | 交渉中 |
| コロンビア | | 交渉中 |
| 日中韓 | | 交渉中 |
| EU | | 交渉中 |
| 東アジア地域包括的経済連携 (RCEP) | (日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド) | |
| | | 交渉中 |
| トルコ | | 交渉中 |
| GCC(湾岸協力理事会)加盟諸国 | (サウジアラビア、クウェート、UAE、バーレーン、カタール、オマン) | |
| | | 交渉延期 |
| 韓国 | | 交渉中断中 |
| TPP (環太平洋パートナーシップ) | 2016 年 2 月 | 署名済 |
| | (シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、アメリカ、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシア、メキシコ、カナダ、日本 (2013 年 7 月参加) の計 12 カ国が交渉に参加) | |

6. 取引委員会事業（樫本隆之委員長）

- (1) 経済産業省「自動車取引適正化研究会」への協力／対応
 - 自動車産業適正取引ガイドラインのフォローアップ調査協力(実施)／集計作業
 - 同研究会委員推薦（委員:樫本隆之取引委員長・副会長）
 - 第8回同研究会出席／発言(H28. 11. 22(火)15:00～於:経済産業省)
 - その他 同研究会への対応（同研究会への資料取り纏め 他）
- (2) 取引関係セミナー開催
 - セミナー開催（H28. 12. 15(木)14:00～於: 大阪 輸出繊維会館 参加者:33名）
テーマ:「価格交渉サポートセミナー」
講師: 中小企業診断士 中本 悠介 氏
 - アンケート回収／セミナー事務局((公財)全国中小企業取引振興協会)との対応／フォロー
- (3) 消費税増税に伴う対応（情報収集 他）
- (4) 政府の下請取引適正化対策の周知・対応
（業種別下請適正取引等の推進のためのガイドラインの周知並びに業界取組みの説明対応、
活用状況等の情報収集、その他 取引の適正化に係わる情報の情報収集・提供）
- (5) 全国中小企業団体中央会取引関係委員会への協力／対応
取引問題委員会委員推薦（委員:相澤正己会長）
- (6) 経済産業省（中企庁）等の行政省庁との対応（会員企業への企業訪問への対応、情報収集）
- (7) 諸会合における取引に関する情報交換
- (8) その他 適正取引に関する事業

II 部会事業

○ 部会

| | 日時・場所 参加者数 | 議題・その他 |
|------------------------|--|---|
| ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長) | (第一回) 28.6.23 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 12名 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演「アジアのステンレスねじ動向について」 講師:豊亜産業(株) 代表取締役 葉山 繁一 氏 ・ステンレスねじの輸出入動向について ・平成28年度 部会事業計画について ・ステンレスねじの市況状況等について ・ステンレス アロエリンクに関して (ステンレス線材の価格動向) |
| | (第二回) 28.9.30 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 9名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・海外市場調査対策について ・(トルコのステンレス鋼製、鉄鋼製ねじの製造業者調査) ・ステンレスねじの市況状況等について ・ステンレス アロエリンクについて (ステンレス線材の価格動向) |
| | (第三回) 28.12.15 17:00～18:00 大阪:北むら 参加者 10名 懇親会 18:00～20:00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入状況について ・平成29年度 部会事業の検討について ・最近の市況に関する情報交換について ・ステンレス アロエリンクに関して ≪終了後 懇親会≫ 懇親会 下記参照 |
| | (第四回) 29.3.8 17:30～18:30 富山:大野屋 参加者 10名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・平成29年度事業計画(案)について ・ステンレスねじの市況状況等について ≪部会に先立ち 工場見学会/終了後 懇親会≫ 工場見学会 下記参照 懇親会 下記参照 |

○ 懇親会

| | 日時・場所 参加者数 | 内容・その他 |
|--------------------------|--|---|
| ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長) | 28.12.15 18:00～20:00 大阪:北むら(注1) 参加者 11名 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘年会 (注1) 北むら(心齋橋駅)(大阪市北区) |
| ソケットスクリュ一部会 (椿省一郎部会長) | 29.1.26 17:00～19:00 東京:東京會館 参加者 37名 | <ul style="list-style-type: none"> ・賀詞交歓会(日本ソケットスクリュ工業協同組合との共催) |
| ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長) | 29.3.8 18:30～19:30 富山:大野屋(注2) 参加者 12名 | <ul style="list-style-type: none"> ・工場見学会/部会終了後 (注2) 大野屋(高岡駅(あいの風とやま鉄道))(富山県高岡市) |

○ 工場見学会

| | 日時・場所 参加者数 | 見学先・その他 |
|------------------------|---------------------------------------|--|
| ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長) | 29.3.8 工場見学 14:00～16:00 参加者 12名 | 日本高周波鋼業(株) 富山製造所(富山県射水市) <ul style="list-style-type: none"> ・特殊鋼・特殊合金鋼(耐熱鋼/ステンレス鋼)製造工場 |

○ 市場調査

- ・ステンレスねじ部会

トルコのねじ製造業者リスト収集

ステンレスねじ部会では、(独)日本貿易振興機構(JETRO)の海外ミニ調査サービスを利用して、トルコ国(イスタンブール)のねじ製造業者リストを入手した。

Ⅲ 組織強化事業

(1) 魅力ある協会運営のための事業推進

- 協会の財政の健全化、魅力ある事業の推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、事業推進5委員会・2部会(上記参照)の活動を活性化
- 協会活性化のためのさらなる会員増強の推進
- 関東・中部・関西の各支部懇談会開催及び懇親会の開催等による会員の相互連携強化事業
関東支部懇親会開催 (H28. 12. 12(月)17:00～於:ホテルグランド東雲)
中部支部における懇親会開催 (H28. 9. 8(木)17:00～於:名鉄グランドホテル)(理事会終了後)
中部支部懇談会(懇親会)開催 (H28. 10. 28(金)16:00～(懇親会 17:00)於:名鉄グランドホテル)
関西支部工場見学会懇談会・懇親会開催 (H28. 6. 14(火)17:30～於:ホテルニューオータニ大阪)
賀詞交換会開催 (H29. 1. 19(木)15:00～於:WTC コンファレンスセンター(世界貿易センタービル))
忘年会開催 (H28. 12. 1(木)17:30～於:シティプラザ大阪)
中部支部工場見学会 (H29. 2. 21(火)13:30～見学先:富士重工業株式会社 半田工場)

(2) 海外情勢等に関する講演会開催 (H28. 12. 1(木)16:00～於:大阪商工会議所 参加者:61名)

テーマ:「英国のEU離脱問題について」

講師:商工中金(株)商工組合中央金庫 本店 調査部長 真船 実氏

(3) ねじのモニュメント建立事業の提案(鹿児島県中種子町(種子島)より)への対応について

種子島(鹿児島県)中種子町役場から事務局に訪問の上、同町がねじのモニュメントを建立する事業(※)に協力願いたいとの当協会宛での提案について以下のとおり対応した。

- 本提案を3月理事会へ上程した。当協会が昭和53年に実施した種子島での実地調査(昭和52年理事会において「火縄銃ねじ類調査特別委員会」を設置し日本におけるねじの始まりを調査(実地調査含む)し報告書を取り纏めた(報告書:S57.6 発行))した経緯(その時の訪問先は中種子町ではなく西之表市であった)を考えると、何故、中種子町なのかということや、当協会に対する詳細な依頼事項が不明確であるということから、中種子町役場を訪問し建立予定地の実地検分と当協会から問題意識を伝えて相互理解を図ることとした。

訪問日程:平成29年3月30日(木)～31日(金)

場所:中種子町役場、熊野海岸(建立予定地(2度目に渡来した場所))、南種子町(宇宙センター、門倉岬(ポルトガル船が最初に漂着した場所))、西之表市(市役所、鉄砲館)

概要:

- ・中種子町役場と西之表市役所で意見交換。
- ・その中で、種子島の1市2町(西之表市、中種子町、南種子町)が連携を取り、産業の発展に伝わる流れを、火縄銃 → ねじ → ロケットとするなど、一過性で終わることなく、ねじモニュメントを介したイベントを計画して欲しい旨要望。
- ・当協会としても、これから町と調整を図りながら協力できることを詰めることとした。まずは、5月の総会で会員に協力を呼びかける。

例:協会創立60周年(2020年)の関連イベントにできないかなど

※いわゆる「ねじのルーツは、種子島に漂着したポルトガル人が持っていた火縄銃の尾栓(ねじ)である」という史実を元に、中種子町では、ポルトガル船が最初に漂着した後、2度目に同町の熊野海岸に渡来したポルトガル人技師から火縄銃の尾栓のめねじの成形法を伝授されたという逸話から、観光資源としてねじのモニュメントを建立する事業を計画(町として予算化)すること。

(4) 政府経済対策等への対応

- 政府・官公庁からの情報提供等政府施策活用促進
- 政府経済対策情報提供
 - ・中小企業信用保険法(セーフティネット保証)の業種指定への対応(資料作成等)
 - ・政府補助金事業及び補正予算関係の情報提供
経済産業省担当官からの理事会・執行役員会等での政府施策等に関する説明及びホームページ等によるその他情報提供
補助金等政府支援策への申請手続きに関する会員へのサポート対応
経営強化法説明会開催(9月理事会終了後)(H28. 9. 8(木)16:00～於:名鉄グランドホテル 参加者:47名)
説明会 内容「中小企業等経営強化法について」
講師:経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 阿部 利恵 様
政府支援等に関する説明会開催(次年度)検討/講師依頼/決定/案内送付
「経営強化法による支援等に関する説明会」(案内済)
平成29年5月10日(水)14:00～ 於:関東鋳螺釘協同組合会議室
- 電力需給対策・原子力発電対策への対応(政府支援策等の対応)

- (5) ねじ商連、日本ねじ研究協会等ねじ関係団体との連携強化
(日本ねじ研究協会との共催事業 他)
- (6) 中学生職場訪問への対応 (公立中学校生徒の当協会事務局への職場見学訪問/ねじ業界説明)
- (7) 会員企業の労務関係調査
○ 会員企業の従業員賃金・賃上げ、賞与に関する調査

| 調査名 | 調査内容・回答社数 |
|-----------------------|--|
| ① 平成 28 年春期賃上げ要求、妥結状況 | 回答 14 社 |
| ② 平成 28 年夏期手当要求、妥結状況 | 回答 13 社 |
| ④ 平成 28 年度従業員賃金調査 | 調査内容 ○ 従業員数、労働時間、休日、週休 2 日制、定年制 ・平均賃金(全従業員数、組合員) ・年齢別平均賃金(男子従業員) ・新規学卒者初任給、採用者数 ・賃金上昇額、賞与、期末手当 ・賃金体系 他 回答 8 社 |
| ⑤ 平成 28 年年末手当要求、妥結状況 | 回答 13 社 |

- (8) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供
- (9) 団体保険制度対応
○ 団体グループ保険制度対応
・制度運用の事務処理作業、その他情報提供 (引受保険会社との制度運営対応(会議含む))
・制度改定に向けた作業対応
(日本歯車工業会「グループ保険制度」との契約統合/統合に伴う作業)
- 国内/輸出向け団体 PL 保険制度対応
加入促進及び制度運用のため作業対応(事務処理含む)、その他情報提供
- (10) その他
○ 経済産業省等の行政省庁との情報交換 (会員企業への企業訪問への対応、情報交換)
- (一社)日本機械工業連合会、全国中小企業団体中央会、鉄鋼製品団体協議会、
中央職業能力開発協会 (JAVADA) 等他団体との連携・対応
- ねじ商工連盟関係事業
ねじ商工連盟 事務局作業 (H27 総会終了後～H29 総会開催日迄)
(平成 29 年度 総会日調整/決定(H29.8.3(木))等)
ねじ商工連盟総会開催 (H28.8.4(木)12:00～於:東京會館 工 15 名、商 17 名、報道 6 名)
- 大阪府知事表彰(商工関係者・優良従業員)候補者推薦作業/在阪会員 8 社・8 名受賞
- 請求書の電子化に関する対応作業(協会発行の請求書を電子化しペーパーレス化・省力化を図る)
理事会上程/電子請求推進団体((一社)エコマート)との制度運営対応(会議含む)/
会員への電子化登録案内/登録データ入力作業
- 栄典関係対応作業

第3章 社員総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等

1. 社員総会、理事会、執行役員会

(1) 社員総会

第4回社員総会(一般社団法人に改組後)は、5月19日に東京で開催。(議事録は「参考1」に記載)

| | 日時・場所 出席者数 | 議 題・その他 |
|-------------|--|--|
| 第4回 社員総会 | 28.5.19 15:00～16:10 東京・浜松町 東京會館 出席 134名 (内委任状及び 書面決議 78名) | 第1号議案 平成27年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件 第2号議案 平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件 第4号議案 会費規程改正(案)承認に関する件 ○ 総会終了後懇親会 来賓挨拶:経済産業省 製造産業局 産業機械課長 佐脇 紀代志 様 |

(2) 理事会、執行役員会

平成28年度は、理事会、執行役員会(臨時含む)について5回の書面審議並びに同日・同時間・同場所で3回開催、年間で計8回開催、概要は以下のとおり。

| | 日時・場所 出席者数 | 議 題・その他 |
|------------------------------------|--|--|
| 第13回 理事会 第13回 執行役員会 (書面審議) | 決議日:28.4.27 提案者:代表理事 相澤正己 同意理事 9名 同意(異議なし) 監事 2名 同意執行役員 65名 | 決議された事項 (1) 平成27年度事業報告案(第4回社員総会上程について) (2) 平成27年度決算報告案(第4回社員総会上程について) |
| 第3回 臨時理事会 第3回 臨時執行役員会 (書面審議) | 決議日:28.6.15 提案者:代表理事 相澤正己 同意理事 9名 同意(異議なし) 監事 2名 同意執行役員 63名 | 決議された事項 (1) 正会員(1社)入会申請について |
| 第14回 理事会 第14回 執行役員会 | 28.9.8 15:00～16:00 名古屋・ 名鉄グランドホテル 出席理事 8名 出席監事 2名 出席執行役員 68名 (内委任状43名) | 議題1 賛助会員(1社)入会申請について 議題2 役員候補選任手順(案)について ○ 理事会終了後 説明会開催 「中小企業等経営強化法について」 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 阿部 利恵 様 ○ 説明会終了後懇親会開催 |
| 第4回 臨時理事会 第4回 臨時執行役員会 (書面審議) | 決議日:28.10.17 提案者:代表理事 相澤正己 同意理事 9名 同意(異議なし) 監事 2名 同意執行役員 66名 | 決議された事項 (1) 正会員(1社)入会申請について |
| 第5回 臨時理事会 第5回 臨時執行役員会 (書面審議) | 決議日:28.10.26 提案者:代表理事 相澤正己 同意理事 9名 同意(異議なし) 監事 2名 同意執行役員 64名 | 決議された事項 (1) 正会員(1社)入会申請について |
| 第6回 臨時理事会 第6回 臨時執行役員会 (書面審議) | 決議日:28.10.27 提案者:代表理事 相澤正己 同意理事 9名 同意(異議なし) 監事 2名 同意執行役員 59名 | 決議された事項 (1) 正会員(1社)入会申請について |

| | 日時・場所 出席者数 | 議 題・その他 |
|------------------------|---|---|
| 第15回 理事会 第15回 執行役員会 | 28.12.1 15:00～15:45 大阪・ 大阪商工会議所 出席理事 8名 出席監事 1名 出席執行役員 66名 (内委任状 32名) | 議題1 平成29年度行事予定(案)について 議題2 平成29年度の主要事業の承認について 議題3 執行役員の選任について 《報告事項》 (1) 2016年五地域ねじ協会交流大会のご報告 (2) ドイツ訪問の視察報告 (3) 第2回幾何公差講習会(名古屋)アンケート結果報告 (4) 請求書の電子化について ○ 理事会開催に先立ち 中小企業の「生産性向上」の要素とその課題について及び ものづくり商業サービス開発支援補助金について 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 阿部 利恵 様 ○ その他 来賓 経済産業省 近畿経済産業局 製造産業課長 坂本 和英 様 |
| 第16回 理事会 第16回 執行役員会 | 29.3.16 14:00～15:00 東京・ 機械振興会館 出席理事 9名 出席監事 2名 出席執行役員 67名 (内委任状 32名) | 議題1 次期執行役員候補(案)について 議題2 第5回社員総会付議案件について (1) 平成29年度事業計画(案)について (2) 平成29年度収支予算(案)について (3) 次期理事及び監事候補案について 《報告事項》 平成28年度事業報告及び決算報告の書面審議について |

2. 懇談会・工場見学会・懇親会 他

懇談会・工場見学会・懇親会 他の開催

| | 日時・場所等 | 時間・参加者数 |
|---|--|--|
| 総会懇親会 | 28.5.19 東京・浜松町 東京會館 | 16:30～18:30 参加者 77名 |
| 関西支部懇談会・ 工場見学(視察)会・懇親会 (後藤晴雄支部長) | 28.6.14 《工場見学(視察)会》 見学先:日東精工(株) ファスナー事業部 (京都府綾部市) (正会員) 視察先:株島津製作所 創業資料館 (京都府中京区) (理化学器械/医療用装置/産業機器展示) 《懇親会》 大阪・ホテルニューオータニ大阪 | 工場見学(視察)会 10:00～14:30 参加者 30名 懇談会 16:30～17:30 参加者 21名 懇親会 17:30～19:30 参加者 19名 |
| 執行役員・監事・中部支部 会員・賛助会員 懇親会 (9月理事会終了後) | 28.9.8 名古屋:名鉄グランドホテル | 説明会 16:00～17:00 参加者 47名 懇親会 17:00～18:30 参加者 47名 (説明会:組織強化事業 参照) |
| 中部支部懇談会・懇親会 (長谷川裕恭支部長) | 28.10.28 名古屋:名鉄グランドホテル | 懇談会 16:00～17:00 参加者 18名 懇親会 17:00～18:30 参加者 20名 |
| 忘年会 (12月理事会) | 28.12.1 講演会:大阪・大阪商工会議所 忘年会: シティプラザ大阪 | 講演会 16:00～17:30 参加者 61名 忘年会 17:30～19:30 参加者 54名 (講演:組織強化事業 参照) |
| 関東支部視察会・忘年会 (椿省一郎支部長) | 28.12.12 《視察》 視察先: CYBERDYNE STUDIO (サイバーダイナスタジオ) (茨城県つくば市) (ロボットミュージアム) 《忘年会》 ホテルグランド東雲 (茨城県つくば市) | 視 察 15:00～16:30 参加者 22名 忘年会 17:00～19:00 参加者 19名 |
| 賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催) | 29.1.19 東京・WTC コンファレンスセンター (世界貿易センター) 《来賓挨拶》 経済産業省 製造産業局 産業機械課長 片岡 隆一 様 | 15:00～16:30 参加者 191名 |
| 中部支部工場見学会 (長谷川裕恭支部長) | 29.2.21 見学先: 富士重工業(株) 航空宇宙カンパニー 半田工場 (愛知県半田市) (航空機組立) | 13:30～15:30 参加者 25名 |

3. ねじ商工連盟総会

| | 日時・場所 参加者数 | 議題・その他 |
|--------------------------------|--|---|
| ねじ商工連盟総会 (相澤正己会長 渡辺昇副会長) | 28.8.4 12:00～14:00 東京・ 浜松町 東京會館 参加者 ねじ協会側 15名 ねじ商連側 17名 報道 6名 | <p>《報告事項》・平成 27 年度収支決算並びに 平成 28 年度収支予算案について</p> <p>(総会終了後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ねじ商連側代表 4 名より地区別に現況及び見通し等報告 ○ ねじ協会側より <ul style="list-style-type: none"> ・ねじ協会委員会事業についての報告とお願い ・JIS(B 1180/B 1181) 本体規格品への切替えの 啓発普及活動報告 (説明者:大磯義和専務理事) |

【平成28年度会員数推移】

| | 期首 | 入会 (種別変更含む) | 退会 (種別変更含む) | 期末 |
|--------------|------------|----------------|----------------|------------|
| 正会員 (内団体) | 153 (5) | 4 (0) | 2 (0) | 155 (5) |
| 賛助会員 | 40 | 4 | 0 | 44 |
| 合計 | 193(5) | 8(0) | 2(0) | 199(5) |

平成28年度 入会社数

正会員4社 賛助会員3社

正会員

株式会社山下精工 (関東支部)
株式会社協和製作所 (関東支部)
橋本螺子株式会社 (関東支部)
知多製鋌株式会社 (中部支部)

賛助会員

中京化成工業株式会社
日新精機株式会社
豊工業有限会社

平成28年度 退会社数

正会員1社

正会員

近畿丸製ナット株式会社 (関西支部)

平成28年度 会員種別変更社数

正会員1社 → 賛助会員1社

正会員

泰洋産工株式会社 (関西支部)

賛助会員

泰洋産工株式会社 (表面加工のみのため)

・会員数推移

| | 入会 | 退会 | 年度末 | 全会員 |
|-------------|------|------|--------|--------|
| 平成21年度('09) | 9(0) | 7(1) | 155(5) | 190(5) |
| | 4 | 0 | 35 | |
| 平成22年度('10) | 2(0) | 4(0) | 153(5) | 192(5) |
| | 5 | 1 | 39 | |
| 平成23年度('11) | 1(0) | 2(0) | 152(5) | 192(5) |
| | 1 | 0 | 40 | |
| 平成24年度('12) | 3(0) | 0(0) | 155(5) | 196(5) |
| | 2 | 1 | 41 | |
| 平成25年度('13) | 0(0) | 2(0) | 153(5) | 193(5) |
| | 2 | 3 | 40 | |
| 平成26年度('14) | 2(0) | 4(0) | 151(5) | 192(5) |
| | 2 | 1 | 41 | |
| 平成27年度('15) | 3(0) | 1(0) | 153(5) | 193(5) |
| | 0 | 1 | 40 | |

上段：正会員 (内団体数)
下段：賛助会員

【参考1】第4回社員総会議事録（一般社団法人日本ねじ工業協会）

1. 日 時
平成28年5月19日（木曜日） 15:00～16:10
2. 場 所
東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル39階 東京會館「オリオンルーム」
3. 出席者
正会員総数 152名
出席正会員数 134名（うち委任状及び書面による議決権行使者78名）
4. 議 題
第1号議案 平成27年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件
第2号議案 平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件
第3号議案 会費規程改正(案)承認に関する件
5. 議 事
開会に先立ち平成27年度にご逝去された会員企業物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げた。
大磯専務理事から、出席正会員数につき、定款第29条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし、定足数に達している旨を報告。
定款第27条の規定により、相澤正己会長が議長となった。
議事に入る前に、来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 服部 嘉博氏より挨拶と労働力人口の減少と人材不足についての説明があった。
続いて議長が本日の議事録署名人に椿省一郎副会長、後藤晴雄副会長の2名を指名して議事に入った。

第1号議案 平成27年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件

専務理事より、資料1-1「平成27年度事業報告書(案)」及び資料1-2「平成27年度決算報告書(案)」に基づき説明があった。
続いて監事を代表して池田裕之監事が、「去る4月18日に監事2名が一般社団法人日本ねじ工業協会本部において、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度における事業内容、財産の状況、会計並びに理事の業務執行状況の監査を行った結果、貸借対照表、財産目録及び収支計算書は正しく示しており、また理事の職務執行についても法令または定款に違反していないと認める」旨の報告があった。
議長より第1号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第2号議案 平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件

専務理事より資料2-1「平成28年度事業計画書(案)」、資料2-2「平成28年度収支予算書(案)」について、説明があった。
議長より第2号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第3号議案 会費規程改正案に関する件

専務理事より 現会費規程は、第2回社員総会にて改正承認され、適用されている。しかしながら会費算定基礎の更新申請に伴い、月額会費金額の増減幅が過大になることを回避することと、規程の文言を明確にしたいと説明を行った。
議長より第3号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

議長は、以上をもって第4回社員総会の議事が全て終了した旨を述べ、16時00分終了した。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成28年5月19日

一般社団法人日本ねじ工業協会

| | | | |
|-----|-----|----|-----|
| 議長 | 会長 | 相澤 | 正己 |
| 署名人 | 副会長 | 椿 | 省一郎 |
| 署名人 | 副会長 | 後藤 | 晴雄 |

NewsRelease



一般社団法人日本ねじ工業協会

(THE FASTENERS INSTITUTE OF JAPAN)

平成28年12月16日

**資格委員会事業
「ねじ製造技能検定講習会」及び「ねじ製造技能検定（協会認定）」について**

当協会 資格委員会（椿 省一郎 委員長）では、当協会が認定する「ねじ製造技能検定（協会認定）」を例年通り年度末の平成29年2月に実施する予定にしております。（本年度も2級のみ）

そこでこの度、その技能検定に資する「ねじ製造技能検定講習会」を東京、名古屋及び大阪の3ヶ所で同日に同時開催致しました。受講者は、3か所で合計126名（東京：43名、名古屋：33名、大阪：50名）であり、全カリキュラムを3回に分けて（平成28年8月25日（木）、9月29日（木）、10月27日（木）の3日間）行いました。なお、本講習は技能検定に合わせて、技能検定テキスト「ねじ製造技能検定ハンドブック」の基礎編に関する講習及び製造編に関する講習の2つに分かれており、どちらか一方のみを受講することが出来るようになっております。

ねじ製造技能検定（協会認定）受検では、合格目指し本講習会の受講をお勧めしますが、本講習を受講しなくとも受検することが出来ます。

本年度に実施するねじ製造技能検定（協会認定）の概要は以下のとおりです。受検申込みは、当協会ホームページ（<http://www.fij.or.jp>）をご覧の上お願い致します。

- ・試験日 : 平成29年2月16日（木）
- ・試験会場 : 東京、愛知及び大阪の各会場で同日開催
- ・試験内容 : 学科試験及び実技試験
- ・受検申請受付締切日 : 平成29年1月13日（金）迄
- ・受検資格 : 実務経験3年以上の方
- ・受検案内（申請書含む）及び試験科目（その範囲含む）
: 当協会ホームページからダウンロードして下さい。

《受検案内から一部抜粋》

| | |
|---------------|--|
| 検定職種 （作業） | 金属ねじ製造 （ボルトフォーマー、ナットフォーマー、ローリング、タッピング） |
| 等級 | 2級 |
| 試験方法 | 学科試験 及び 実技試験 |
| 実技試験問題 の概要 | 要素試験（ペーパーテスト） 作業試験（作図、測定） |
| 受検手数料 | 学科試験：8,000円 但し、・会員割引価格：5,000円 ・協会所属組合員（※）割引価格：6,500円 実技試験：20,000円 但し、・会員割引価格：10,000円 ・協会所属組合員（※）割引価格：15,000円 ※ 協会所属組合：大阪磨ナット工業協同組合 関西ねじ協同組合 （5組合） 関東鉚螺釘工業協同組合 東部ファスナー協同組合 兵庫県鉚螺釘工業協同組合 |

（本発表資料のお問合せ先）

一般社団法人日本ねじ工業協会
連絡先：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館508号
TEL. 03-3434-5831 FAX. 03-3434-0546
E-mail. honbu@fij.or.jp
ホームページ. <http://www.fij.or.jp>



平成29年1月25日

神奈川県立川崎図書館でのねじミニ展示について

当協会 未来開発パブリシティ委員会（藤田守彦委員長）では、昨年神奈川県立川崎図書館（川崎市川崎区富士見 2-1-4）が企画した「ねじミニ展示」に対しての協力要請に応じ、会員企業の製品等の提供を行った。

同展示は平成28年9月9日より平成29年1月11日（会期101日）まで行われ、延べ1,971人の来場者を迎えた。来場者のアンケートでは、遠方からの来場者や子供の楽しかったとの感想や、事前PRの成果もあり学校教師の来場もあった。また10月15日に開催した講演会（トコトンやさしい「ねじ」のお話し、講師 宮城教育大学准教授 門田 和雄氏）の申し込みには、定員50名のところ90名を超える申し込みがあるほどの盛況ぶりだったという。

同館での展示協力素材及び協力会員は以下のとおり。

<展示素材>

- ①特殊表面処理（タコート）ボルト・ナット 竹中製作所様
- ②緩み止めナット「スカートナット」 イチヤナギ様
- ③防水・防油機能付きねじ 「シールアップ@スクリュー」 富士セイラ様
- ④アンカーボルト 河坂製作所様
- ⑤緩み止めねじ（樹脂材塗布タイプ） 日東精工様
樹脂用セルフタッピンねじ「ギザタイト」
極小ねじ 呼び径0.6mm
頭部刻印ねじシリーズ
- ⑥「バーチャル工場見学」のパネル版 丸エム製作所様
マグネシウムねじ
- ⑦「JIS本体企画品推奨パネル」
- ⑧冊子「付属書品から本体規格品への切り替えガイド」
- ⑨DVD「この世はねじでできている」

（本発表資料のお問合せ先）

一般社団法人日本ねじ工業協会

連絡先：〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 508号

TEL. 03-3434-5831 FAX. 03-3434-0546

E-mail. honbu@fij.or.jp

ホームページ. <http://www.fij.or.jp>



平成29年3月10日

固定資産税 半分に減免(3年間)
設備投資 即時償却又は7%税額控除(資本金3千万円以下は10%)
中小企業経営強化税制改正がまもなく発効

経済産業省中小企業庁から周知依頼がありましたので、お知らせします。

今次国会で審議中の税制改正(平成29年4月1日以降取得の設備が対象)の中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に係る税制内容及び税制措置の方法は、次とおりです。

(税制内容)

- (1) 固定資産税の特例 中小企業等経営強化法の認定を受けた事業者が取得する機械装置等に係る固定資産税の課税標準を、3年間1/2に軽減
- (2) 即時償却又は7%税額控除 経営力向上計画の認定を受けた事業者が取得する機械装置等の即時償却又は7%の税額を控除。(資本金3千万円以下は10%)
- (3) 中小企業が生産性向上等に設備投資を行った場合、30%の特別償却又は7%の税額控除を2年間延長(平成30年度末まで)
- (4) 商業・サービス業についても(3)と同様な措置適用

(税制措置の方法)

- (1) 税制措置を受けるには、まず購入設備メーカー(代理店)に対象設備に該当する証明書の発行を依頼し、設備メーカーが該当工業会から証明書を入手するので、その証明を添付して、経営力向上計画を作成し申請書を各地方の経済産業局に提出する
- (2) 経済産業局からの計画認定書を受領後に設備を購入・設置する
- (3) 税務申告

以上の内容は、3月15日に経済産業省中小企業庁から発表される予定です。

なお、詳しい内容、相談は協会事務局にお尋ねください。

(本発表資料のお問合せ先)

一般社団法人日本ねじ工業協会

連絡先：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館508号

TEL. 03-3434-5831 FAX. 03-3434-0546

E-mail. honbu@fij.or.jp

ホームページ. <http://www.fij.or.jp>



平成29年3月10日

ロゴマークの商標登録完了について

一般社団法人日本ねじ工業協会（相澤 正己会長）は、2015年7月に開催された一般社団法人日本鍛圧機械工業会及び日刊工業新聞社主催のプレス・板金・フォーミング展（MF-Tokyo2015）への出展にあたり作成したロゴマーク「この世はねじでできている」を特許庁に商標登録申請していたが、平成29年2月10日登録された。（※登録証参照）

今年の7月開催されるプレス・板金・フォーミング展にも出展を予定しており、今回もこのロゴマークを活用する。

またこのロゴマークは、日本ねじ工業協会会員は無料で使用でき、いろいろな用途に幅広く活用して頂きたいとしている。

（本発表資料のお問合せ先）

一般社団法人日本ねじ工業協会

連絡先：〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 508号

TEL. 03-3434-5831 FAX. 03-3434-0546

E-mail. honbu@fij.or.jp

ホームページ. <http://www.fij.or.jp>




商標登録証
(CERTIFICATE OF TRADEMARK REGISTRATION)
(団体商標 / COLLECTIVE TRADEMARK)
登録第5920146号
(REGISTRATION NUMBER)

商標
(THE MARK)



指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分
(LIST OF GOODS AND SERVICES)
第 6 類 卑金属、卑金属製ナット、卑金属製ボルト

商標権者
(OWNER OF THE TRADEMARK RIGHT)
東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館508号
一般社団法人日本ねじ工業協会

出願番号
(APPLICATION NUMBER) 商願2016-015961
出願日
(FILING DATE) 平成28年 2月 1日 (February 1, 2016)
登録日
(REGISTRATION DATE) 平成29年 2月10日 (February 10, 2017)

この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)
平成29年 2月10日 (February 10, 2017)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

小宮義則




平成29年3月16日

平成28年度

協会認定「ねじ製造技能検定」2級 合格者発表について

一般社団法人日本ねじ工業協会（東京都港区、相澤正己会長）は、ねじ製造企業の生産に携わる従業員の職業能力向上を促進し、社会的地位の確立及びモチベーション向上を図るため、「ねじ製造技能検定（協会認定）」の試験を実施した。

ねじ製造の第一線で働く従業員は、検定試験合格という協会認定の資格を取得することにより一定のねじ製造技能の保持者としての評価が得られることになる。

今回6度目となる協会認定試験は、広く一般からも受検を可能として、平成29年2月16日（木）に東京、名古屋及び大阪の3か所において実施した。

受検者は3か所で合計120名（東京：44名、名古屋：28名、大阪：48名）（昨年度は123名）であり、午前に実技試験、午後に学科試験を行った。

学科試験の内容は、ねじ製造技能検定ハンドブックより出題された。実技試験は作業試験と要素試験の2つの試験があり、作業試験はボルトの作図試験と寸法測定試験、要素試験は作業別

（ボルトフォーマー、ナットフォーマー、ローリング、タッピング）に製品製造時におけるトラブルシューティング対策等について選択問題が出題された。

検定結果は、3月16日に、同協会ホームページ (<http://www.fij.or.jp>) に、合格者のみ受検番号を掲載し当協会より合格証書を送付する。また学科試験又は実技試験の得点のいずれかだけが合格基準に達した受検者には、書面で一部合格を通知し、次回の検定試験受検時には一部合格した試験について試験を免除する。

本年度のねじ製造技能検定（協会認定）2級の結果は、合格者50名（昨年度までの累計合格者数は、計200名）、一部合格者（学科）：44名、一部合格者（実技）：2名であった。

来年度も検定試験受検者のための講習会「ねじ製造技能検定講習会」を東京、名古屋及び大阪で開催する予定、検定試験も本年度同様平成30年2月に3か所同時の実施を予定している。

（本発表資料のお問合せ先）

一般社団法人日本ねじ工業協会

連絡先：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館508

TEL. 03-3434-5831 FAX. 03-3434-0546

E-mail honbu@fij.or.jp

ホームページ <http://www.fij.or.jp>

【参考3】五地域交流大会公式ロゴマーク

